

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—



月刊

ポケットあわじ



秋はやっぱり芸術け？ そうだあー

VOL.174

もくじ

P1 陶磁器工房 ルバルテ P2 ステンドグラス工房 ルヴェール P3 アワジカン P4 柿染め 内海さん P5 水墨画 東さん・沖縄唄三線 P6 淡路文化会館・淡路消費生活センター・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 イベント情報・編集だより

陶磁器工房

ルバルテ

Lubarte



丹羽 あかねさん
南あわじ市出身

ヘスアルド・F・ブラマスさん
スペイン出身



ヘスアルドさんの作品

陶芸教室

毎月第1週めに開催。
要予約！(早めにご予約ください)



詳しくは
ホームページで。

陶磁器工房 Lubarte(ルバルテ)
656-0152 南あわじ市倭文長田10-1
© 090-1716-3489 (ニワ)

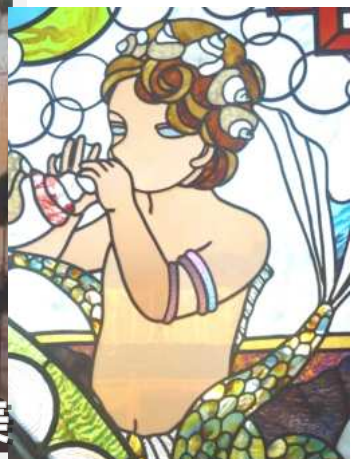
陶磁器工房ルバルテのヘスアルド フェルナンデス ブラボさん、丹羽 あかねさんご夫婦は、南あわじ市倭文サンライズ淡路近くの古民家を自分たちで改装して明るい工房兼ギャラリーをオープンされています。

ご主人のヘスアルドさんはスペインのラ・マンチャ出身。約25年前に来日して東京で磁器の師匠に師事。奥様のあかねさんは南あわじ市榎列出身。美大を卒業後、栃木県益子で修業。2000年にご夫婦で栃木県那須郡烏山市に築窯。以来二人で東京・栃木などで各地で展覧会をしています。栃木で生活していた二人ですが、東日本大震災がきっかけで淡路に帰ってきました。

体の大きなヘスアルドさんが繊細で美しい磁器の食器を製作。華奢なあかねさんが大きな陶器の花器などの作品を作っていると聞いて、そのギャップに驚きました。ヘスアルドさんの作品は美しい白が上品でとても繊細。お料理が、きれいで美味しく映えそうな器ばかりです。あかねさんの作品は、華展でつかえる存在感のあるどっしりとした立派な花器から野の花が映えそうな花器まで、どれも目をひく作品です。今後は淡路島の土を使った作品に挑戦してみたいそうで色々試験中だそうです。(応援隊:坂本 厚子・

川原 雅代・村上 紀代美)

ギャラリーオープン3周年記念となる11月中旬には、海外から作家仲間がきてお二人と一緒に制作活動をするそうです。



絵柄の繊細なラインと
ガラスの光が織りなす美



ショップの入口

ステンドグラス工房

ルヴェール

Le Verre



京都芸術祭大賞受賞

ステンドグラス工芸士
篠上さふみさん



洲本市五色町鳥飼浦2599-359

ステンドグラス工房“ルヴェール”

連絡先 ☎ 0799-34-1134

工房の前にステンドグラスやアンティークのショップもあります！

「うわあ〜きれい〜」「すごい〜」「すてき〜」…思わず作品を見て叫んでしまいました。そんな私たちを唸らせた“ステンドグラス工房“ルヴェール”は、淡路島西海岸中央に位置する五色町鳥飼浦のリッチランド内にあります。その工房で作品作りに取り組んでいるのが、ステンドグラス工芸士の篠上さふみさんです。もともと手先が器用だった篠上さんは、子どもの頃から物を作ることが好きだったようで、初めてステンドグラスに出会った時に自分にもできるのではと思ったのがきっかけとなったそうです。

ステンドグラスを始めたのが1992年、2004年には大阪で工房を開業し、2007年に現在の場所に移住し工房も新たに作り直しました。工房には大小様々のステンドグラスが飾られており、洋の中に和が表現されたり、絵柄も可愛いさあり力強さあり優しさありで、繊細なラインとガラスの光が織りなすオリジナリティーあふれる作風の幅の広さに驚かされます。篠上さんが手がけるステンドグラスは受注によるものが殆どですが、昨年京都芸術祭美術部門で大賞を受賞されたこともあってか、京都や岡山、島内のホテルなどで展示依頼が相次ぎ、とても忙し

くされています。また、2014年にはステンドグラス1級技能工芸士として認定され、現在は日本ステンドグラス協会の理事に就任されるなど、その実力を発揮しています。

篠上さんは作品の完成を楽しむというより、作っていくその過程がとても楽しいのだそうです。光を受けてガラスの輝きに変化を感じたその瞬間、篠上さんの作品への情熱が光ったような気がしました。そして、改めてこの淡路島で素晴らしい作品とアーティストに出会えたことに“バンザイ”です。

紙面では白黒写真でしかお伝えできないのがとても残念です。ぜひ、この“ポケットあわじ”やステンドグラス工房“ルヴェール”のホームページで、ガラスワールドを味わってみてください。

また、工房では体験や教室などにも参加できるようによ〜。

(応援隊: 瀬戸由美子 田村ひろ子)



～西アフリカの太鼓とダンス～

アワジカン



①熊本・淡路島ご縁日

淡路はおもしろい人が多い

淡路島に西アフリカの太鼓の弾けるリズムとアフリカダンスの輪が広がっています…。

佐藤 明希さんの主宰する「アワジカン」は、2016年度産声を上げた西アフリカの太鼓とダンスのグループです。「カン」とは西アフリカギニアの言葉で、『声』を意味します。太鼓の音は、『音』ではなく、『声』というコミュニケーションツールなのです。アワジカン」とは、「淡路の声」ということになります。



さとう あき
佐藤 明希さん
東京出身



西アフリカのジェンベ(太鼓)



太鼓とベル



②ハマボウ祭

佐藤さんは、東京のご出身。東京と鳥取で農学を学ばれた後、岐阜・白川郷、長野・上田市の自然学校で”森の案内人(インタープリター)”、香川で森のようちえんの保育士を経て、2015年3月に淡路島へ移って来られました。ジェンベ(太鼓)とアフリカダンスとの出会いは2006年。以降3回ギニアに渡り、習得しました。淡路への移住のきっかけは、「淡路島マンモス」(淡路市大町)という”森のようちえん—まんまる—”が開園できる場があったからとのこと。

淡路島について何うと、「おもしろい人が多い。海あり山あり、コンパクトな中に何でもあり、食料自給率がとても高いのが魅力。」また、「神楽から阿波踊りやだんじり唄などの表現の文化も定着していて、太鼓に合わせて

のアフリカダンスも受け入れられやすい素地がある。」とも話されていました。演奏に使われる打楽器は、ケンケニ、サンバン、ドゥンドゥンという小・中・大の牛皮を張った太鼓、ジェンベという山羊皮を使った太鼓。そして、ベル。素朴な打楽器から弾けるリズムに自然と体が動き出し、楽しさも弾けてきます。

西アフリカでは、太鼓奏者は『ジェンベ・フォラ』という称号で呼ばれ、周りの人々が認める人格者であるとのこと。ライフワークとしてこの民族音楽を楽しむ佐藤さん。成ヶ島で行われた「ハマボウ祭り」、淡路島冒険の森(淡路市楠本)での「Yamakita & Benoit秋の西日本爆奏ツアー」にも出演されました。さらにダンスワークショップを開催したり、地元のイベントや祭礼にも参加するなど今後ともいろいろな人達と一緒にやっていきたいと熱く思いを語っていただきました。

参加者が心地よい空間や時間を共有できるこの芸術～アフリカダンス～の仲間が増え、その輪が大きく広がっていきますように。(応援隊:中田 浩嗣)



＜アワジカン 佐藤 明希さん＞ 連絡先:080-5616-7181 (Facebookページもあります)
活動日時:毎週木曜日 19:00～ 活動場所:淡路文化会館多目的スペース

柿渋染め



季節を染める魔法の手

うつみのぶこ

染色 内海信子さん 81歳

淡路市小田(仁井)に住まれて22年。ご主人の仕事の関係で日本列島 東は山形から南は鹿児島まで11カ所を転勤され、1度も来たことがない淡路島へのきっかけは？とお聞きすると、自然がいっぱいで海の見える場所だったので、淡路で住もうと決めたそうです。

近隣には家はなく、人と知り合うために淡路へ来てすぐご夫婦でボランティア活動(花植え、草引き、展示ボランティアとして文化祭展示、パネル運び・組み立てなど)に参加され、今も続けられています。

信子さんは、淡路文化会館、パルシェで染色に出会い、草木染から始めて、2年後には柿渋染めも習得し、現在は合成染料で染めるのと3種類を楽しんでいます。お家にお邪魔しますと玄関から廊下、階段、居間など、あらゆる場所に季節にあった手作り作品が出迎えてくれます。今は秋なので、秋の草花や果物などを柿渋染めで染めたものが季節に合って、心静かに落ち着いた雰囲気がかもし出されています。

信子さんの手は魔法の手で、近くの野原に咲いているあざみ、すぎな、たんぽぽや、せいたかあわだち草、ざくろ、みかん、びわなどの、枝や葉も使います。草木染め、柿渋染め、合成染料、どれも素晴らしい世界で一つ

今は秋の草花や果物を優しく染色

だけの作品なのです。保育所、小学校、地域サロンなどのボランティアに行ったり、北淡公民館では14年前から講座を受け持ち、最初からの人も多くいます。

信子さん自身は、年齢も重ねてきたし、そろそろ引き際かなと思ったこともあったようです。主治医の北淡診療所の先生から「皆さんに喜ばれることは良いことですよ。皆さんも元気になり、本人も元気になる源ですよ。」と言われ、頑張っています。そして、「染めは手間暇がかかりますが、その一つひとつを今は大いに楽しんでいます。」と、静かな優しい口調で話されました。

一度、内海 信子さんの全作品(布、木、和紙)をじっくり拝見する機会を得たいものです。

(応援隊:廣岡 ひろ子)



染めを
楽しんでます。



草花の場合、写生し洋型紙にカッターで花を切り抜き、その所を型染め用防染糊をつめ、乾燥させ、柿渋2回、媒染1回を刷毛で塗る。布、木、和紙も同じ方法です。仕上がったら、防染糊をはがすため、水の中にとっとつける。和紙は破れませんので、板の上で乾かしてちぎりながら竹籠等に張ると一貫張りになります。

西来寺の襖絵「明兆の倣画」

日本水墨画の元祖「明兆」
洲本川沿いの明兆像



水墨画を描いている東 雅山(ひがしがさん)さんを洲本市宇山のご自宅へお伺いしました。東さんには快く迎えていただき、さっそくお話を聞くとともにたくさんの作品を見せていただきました。東さんは現在の南あわじ市神代の生まれ。長年小学校の先生をされていて洲本市立安平小学校の校長を最後に退職されました。現在81才ですが、とてもお元気で作品を描くことはもちろんのこと、水墨画教室の指導などでも活躍をされています。水墨画は53才の時に「趣味の水墨画」という本を購入し、独学で習い始め水墨画の虜になったそうです。その後「雪舟国際美術協会」に入会してさらに勉強を重ね、現在ではその常任委員です。水墨画を描き始めて30年弱、その間にはいろいろな展覧会にも出展し、たくさんの賞もいただいたそうです。作品も大小さまざまで大きいものでは襖絵などもあります。

墨は自分自身が硯石ですりませんが、水墨画は墨色だけなので墨と水の量とで濃淡を出すためにそれが難しいし、にじませたりかすれさせたりしながら描くそうです。「日本の水墨画には心が一番大切でなごみ、心安らぐということから自身の作品にも『一心』という文字を入れます。」と話されていました。

現在の洲本市物部で生まれ、幼少期に洲本市塩屋の西来寺で修業し、のちに京都の東福寺の絵師となり国宝や重要文化財となった数多くの作品を残し、日本水墨画の元祖と呼ばれた「明兆」の偉大さを継承し、そのことを多くの人に知ってもらいたいという「明兆顕彰会」の理事長もされています。その偉大な絵師「明兆」の像が西来寺山門近くの洲本川沿いに建てられています。また洲本川沿いの道路も「明兆小路」「明兆通り」と名付けられていますので、皆さんもぜひ訪ねてみてくださいね。



このように東さんは、これからも明兆の仏画と雪舟の山水画を融合した画風を描き続けていられるそうです。(応援隊:田処 壺久)

東さんの水墨画教室は洲本市民交流センターで毎月1回開催されています。

問い合わせ 市民交流センター 電話0799-24-4450
東さん 電話0799-22-3595



今月の生活創造活動グループ紹介

沖縄唄三線



沖縄の三線をやっています。三線は沖縄が琉球国の時代から現代に受け継がれ、今では日本各地、世界へと広がっています。

私たちは沖縄の唄と三線が大好きなグループで、活動としては主にボランティアで演奏しています。今年に入って淡路島で福祉施設やお祭りのイベントやカフェに出演しました。又、夏には沖縄にも行って演奏しました。今後も1ボランティアでのイベントがあります。ふだんはみんな

仕事や家事、育児をしながら尼崎の先生のところへ稽古に通っています。イベントの前は忙しい中、空いている時間を見つけて練習しながら、おしゃべりしたりおやつを食べたり、わいわい楽しい時間を過ごしています。これからも大好きな沖縄の唄を発信していきたいと思っています。

淡路文化会館からのお知らせ

人形浄瑠璃街道推進事業

淡路島民俗芸能フェスティバル

日時：11月20日（日）

13:00～16:30

場所：南あわじ市中央公民館

○淡路島内各地に受け継がれている伝統芸能や郷土芸能など、各市より計9団体

○徳島県の阿波人形浄瑠璃や淡路人形浄瑠璃など、4団体

73団体が出場します。

入場無料

お楽しみください。

淡路消費生活センターからのお知らせ

2016 リサイクルセール・イン淡路(第26回)

◆家庭内の不用品、手作品を持ち寄りフリーマーケットを開催◆

是非、ご来場ください

日時：平成28年11月23日（水・祝）

10:00（販売開始）～13:00（販売終了）

会場：淡路文化会館 中庭及び駐車場

フリーマーケット

家庭内の不用品・手作品を持ち寄り、62店舗が出店します。

（雨天時は10店舗のみ、講堂で実施します）

淡路のほんまもん！ ええもんフェア

淡路島の特産品や特産物を紹介・販売するコーナー、展示・啓発コーナーを同時開催します。

主催：リサイクルセール・イン淡路2016実行委員会
（事務局：兵庫県淡路消費生活センター内）
電話 0799-26-3360



いざなぎの丘 元気っ子フェスティバル

クラッカー音で開会を告げ、はばタン、柴右衛門狸、いぶし瓦の銀さん、おのりん、ころりんの5体のゆるキャラの行進で雰囲気盛り上げた、いざなぎの丘元気っ子フェスティバルが、10月2日に淡路文化会館で開催されました。今年、秋雨前線の影響で雨の日が多く天候が心配されたのですが、天候に恵まれ「わくわく体験ブース」「飲食販売ブース」「商品テスト体験コーナー」「淡路地域交フェスタ」「協賛イベント」に約2,200人の来場者がありました。「皆さんの教え方が優しく楽しく、とても楽しかったです。」「家族の良い思い出の日になりました。200点満点です。来年もまた来ます。」という来場者の声、「作品が完成した時の子ども達の感動した顔が印象的でした」という出展者の声、「子どもや親の顔を見ると、こちらまで笑顔になれました。」「普段体験することができない活動ができ、たくさん笑顔にふれあえ、とても有意義な一日でした。」というボランティアの声がフェスティバルのよさを物語っていると思います。一宮中学校、津名高等学校、洲本実業高等学校、京都学園大学のボランティアの生徒・学生の協力に感謝しつつ、来年度もより良きフェスティバルにしたいと思います。



淡路のまち・地域づくり活動を応援する プラットフォーム淡路島からのお知らせ

第2回あわじ地域づくりラウンドテーブル

「そばカフェ生田村の経営に学ぶ、
人材・資金づくり」

農村集落が抱える過疎・高齢化の対策として、地域資源を活かしたコミュニティビジネスが注目されています。今回は、「そばカフェ生田村」を拠点に、他地域との交流や地域活性化に取り組む生田地域の経営活動について学びます。

■ 日 時：平成28年12月8日（木）13:30～15:30

■ 場 所：そばカフェ生田村（淡路市生田畑152）

■ 講 師：李 貴一氏（NPO法人ウィズアス生きがいサポート事業部
生きがいサポートセンター播磨東センター長）

田村 伊久男氏（生田地域活性協議会 事務局長）

■ 参加費：100円（茶菓子代）

■ 定 員：40名

【申し込み・問い合わせ先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課内

TEL/0799-26-2043

FAX/0799-26-3090

メール/awajikem@pref.hyogo.lg.jp



施設等	イベント	日時・会場	料金等
市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	伝統芸能手摺木版 大錦浮世絵美人名作撰 素晴らしい伝統芸術「浮世絵」復刻版の名作をお楽しみください。	日時 ：11/1(火)～30(水) 9:00～21:00 初日は13:00から・最終日は12:00まで ●月曜日休館 場所 ：1階アールギャラリー	★鑑賞無料 【問】市民交流センター TEL 0799-24-4450
兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201	光と花のページェント 2016—クリスマスフラワーショー	11/19(土)～1/15(日)	入館料：大人600円、65歳以上(要証明)300円、高校生300円、中学生以下無料 材料費 ①4,000円 ②5,000円 ③2,500円
	奥田とみよ プリザーブドフラワーアレンジ教室—クリスマス ※予約優先。材料がなくなり次第終了。	11/26(土) 27(日) 11:00～16:00 ①LEDワックスベース クリスマスブーツ ②プリザーブドでアレンジ! クリスマスツリー ③LEDワックスベースハートランプ	
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	幸田浩子と神戸市室内合奏団 歌で繋ぐ復興の架け橋—淡路島の少年少女と共に ・オペラ「セルセ」よりオンブラ・マイ・フ ・オペラ「リナルド」より涙の流れるままに	日時 ：11/6(日) 13:00開場 14:00開演 場所 ：文化ホール『しばえもん座』	★A席：5,000円 B席：4,000円 全席指定 【問】コンサート実行委員会 TEL 090-5658-0934(佐竹)
	劇団カッパ座淡路島公演『雨の贈りもの』 親も子も楽しめるファンタジー劇場 字幕付き公演	日時 ：11/27(日) 2回公演 開演①10:30 ②13:30 場所 ：文化ホール『しばえもん座』	★前売券 大人：1,600円 小人：1,100円 ※当日500円増 ※全席自由 【問】淡路カッパ座の会 TEL 0799-25-8387
淡路人形座 「11月公演」 『戎舞』 『火の見櫓』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	【定時公演】 ①11/1(火)～7(月)、11(金)～14(月)、19(土)～23(水)、26(土)～29(火) 8(火)、10(木)、17(木)は【10:00、11:10】 15(火)、18日(金)は【10:00、11:10、13:30】 25(金)は【15:00】 ★大人 1,500円 中高生 1,300円 小学生 1,000円 幼児 300円 「戎舞」「人形解説」「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 ②11/8(火)、10(木)、17(木)は【13:30、15:00】 15(火)【15:00】、25日(金)【10:00、11:10、13:30】 ★大人 1,000円 中高生 800円 小学生 600円 幼児 200円 「人形解説」「戎舞」 ①②●定時公演時間 10:00、11:10、13:30、15:00 【臨時公演】 30名様以上・15日前までの予約が必要 9:00、16:00 【11月の休館日】 11/2(水)、9(水)、16(水)、18(金)15:00～《出張公演のため》、24(木)、30(水)※23(水)は祝日で通常営業のため24日(木)に振替休館 【人形まつり特別企画】 バックステージツアー 先着20名様限定(11:10の公演を鑑賞された方) 11月の土日の11:10の公演終了後、ふだん見ることができない舞台を座員がご案内します。 【今月のトピックス】 第3回阿波路会 竹本友和嘉・鶴澤友勇 女流義太夫公演 11/19(土)開場 17:30(開演18:00) 料金 大人：1,000円(学生無料) ○正井 良徳(淡路人形協会理事長)による演目解説 ○竹本友和嘉・鶴澤友勇による素浄瑠璃「仮名手本忠臣蔵 塩谷判官切腹の段」 主催：淡路人形座・阿波路会 【問】淡路人形座 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072		

施設等	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	①津名フォトクラブ展 ②兵庫県学ぶ高齢者のつどい中央大会作品展 ③第21回スケッチ淡路100景展	日時 ①11/8(火)~20(日) ②11/25(金) ③11/27(日)~12/4(日) 9:00~17:00	★無料 【問】淡路文化会館 TEL 0799-85-1391 会場 ①②③美術展示室 ②県民ギャラリー
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	開館25周年記念展 直原玉青 禪の牧牛 うしかひ草	日時 ：~11/30 ・9:00~17:00 (入館は16:30まで) ・月曜休館	★大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館 0799-36-2314
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	季節のクラフトあそび秋 「森の時計づくり」	日時 ：11/19日(土)・20日(日) 23日(水祝)・26日(土)・27日(日) 5日間 10:00~16:00 会場 ：ビジター棟	料金：300円 ※別途入園料・駐車料金が必要
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 0799-22-3322	墨に遊ぶ子どもたち展 書道教室に通う子ども達の作品展示	日時 ：11/12(土)~13(日) 10:00~18:00 2日目は、16:00まで 会場 ：3階ギャラリー	★鑑賞無料 【問】淡味篆会 TEL 090-1444-3489 (後藤)

第4回淡路島くじょうみ講座 「淡路島ってどんな島」

講師 道上 洋三 氏

(朝日放送エグゼクティブ・アナウンサー)

講師の豊富な知識と経験の中から淡路島の魅力、地域資源をいかしたこれからの可能性などについてお話させていただきます。

- ◆日時 11月26日(土) 14:00~15:30
- ◆場所 洲本市文化体育館(洲本市塩屋1-1-17)
- ◆定員 300名
- ※事前申込必要 締切11月25日(金)
- ◆問合せ先 (一財)淡路島くじょうみ協会
TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521

編集だより

淡路文化会館で10月2日に行われた元気っこフェスティバルに参加しました。前日のお天気と違い秋晴れの日でした。今年はお孫さんをつれたおばあちゃんの姿が目につき、家族でゆっくり楽しんでいるのが感じられました。毎回いろいろなブースが来店し、終了時間を過ぎても子ども達の目がブースを囲んで輝いていました。来年もお会いしましょう。(応援隊：岡 まさよ)

淡路県民局銅鐸シリーズ講演会・南あわじ市松帆銅鐸市民講座
淡路文化会館いざなぎ学園 地域公開講座

国生み神話と淡路の銅鐸 ~海人(あま)の住む島・淡路~

講師 武田信一氏 (淡路地方史研究会会長)

“松帆銅鐸”や“国生み神話”など、淡路島のロマン溢れる歴史・文化に想いをはせ、淡路の魅力を再発見してみませんか?

日時：11月16日(水)14:00~16:00 (入場無料)

場所：淡路文化会館 (淡路市多賀600)

※申込締切 11/14(月) 定員あり

【問】淡路県民局県民交流室未来島推進課 TEL 0799-26-2085

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,400部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館・淡路文化会館運営協議会
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp



私たちはポケットあわじを応援します。

